



花園大学 〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1 Tel.075-279-3630 (直通) Fax.075-823-2412 後援会事務局

—学長挨拶—

世界は大きく 変わろうとしています



学長 丹治光浩

この原稿は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除され、県をまたぐ移動が再開された6月の終わりに書いています。小中学校では三密を避けるなどの感染防止対策を取りながらの通常授業が開始されましたが、本学を含め、多くの大学は今も学生の入構制限をするともに、前期中は基本的にオンライン授業をしています。後期の授業が始まる9月にはできるだけ対面授業をしたと考えていますが、第二波、第三波の懸念もあり、先行きは不透明な状況です。この間、学生はもちろん、ご家族の皆様におかれましても、大変なご不便やご心配をおかけしてしまっています。

このような中、後援会からは一人一万二千円の緊急学生支援を決定していただきまして、心より感謝申し上げます。これにつきましては、学内の売店、書店、あるいは食堂などを使うことのできるチケットとして学生に配布する予定です。また、大学としても一人あたり5万円の緊急修学支援奨学金を予算化し、各家庭にお届けすることができました。決して十分な額ではないかもしれませんが、オンライン授業を受講する際の環境整備などに役立てていただいたいものと思っています。

ところで、「アフターコロナ」、あるいは「ウィズコロナ」という言葉がありましますように、仮に今回の感染症が収束に向かったとしても、全てが以前の生活に戻るのではなく、私たちは従来とは異なる新しい生活様式を取り入れることになるだろうといわれています。大学においても、オンライン授業のメリットを生かした新しい教育法の確立が模索されていますし、文部科学省は「大学教育のデジタルイノベーション・イニシアティブ(Scheme-D)」という新事業を立ち上げました。世界は大きく変わろうとしています。

3月に人工芝のグラウンドが完成、新校舎の建設も順調に進んでおります。後援会の皆様には、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

新校舎・グラウンド完成!



花園大学創立150周年事業として始まったキャンパス整備は、今年の1月よりグラウンド校舎(名称 楽道館)とグラウンドの人工芝化の工事が着工、3月に人工芝が完成しており、8月末には校舎が完成しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、グラウンドは当面の間、利用していただきませんが、緊急事態宣言が解除された6月から、徐々に、時間制限はあるものの、クラブ活動で利用されるようになります。人工芝の上を走る学生たちの姿がみられるようになりました。今後、キャンパス整備は返照館の建て替えのために無聖館3階を改修して現在返照館に入っている国際神学研究所および文学部の大学院の引っ越しを行い、返照館の建て替え工事に進みます。

後援会

新型コロナウイルス感染症にかかると緊急支援について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためほとんどの大学がオンライン授業による開講となり、花園大学も今年度前期の授業はオンラインが基本となりました。そうした中、花園大学からは一律5万円の「花園大学緊急学修支援奨学金」が全学生に届けられました。後援会からも緊急学生支援を行うことといたしました。学生の皆さんに長期の自粛生活から通常の生活リズムを早急に取り戻し、しっかりと学修に励んでもらうための支援です。

- 支援内容
- 全学生に学内食堂及び売店で使用できる12,000円分のチケットを配布**
 - 利用施設** 学生食堂「ふるーる」、売店「Yショップ」、書籍売店「丸善」
 - 利用期間** 食堂等が営業再開した日～令和3年2月28日(予定)
 - 配布** 100円チケット120枚綴りを後期授業開始時に配布(予定)

2020年度新理事、役員の選出

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、役員会及び理事会が開催できないことから、2020年度は新理事の選任補充は行わないことといたしました。また、会長・副会長・幹事の新任員及び監事の選出も行わず、現役員会の再任により執行体制を維持することとします。

2020年度の役員は以下の4名のみなさます。任期は1年です。

会長 寺町 宗明様
副会長 市川 秀行様
幹事 田口 潤様 周藤 雅文様

会計監事は以下の2名のみなさます。任期は1年です。

監事 桂木 卓朗様 原田 真由子様

2019▶2020 Hanazono University 理事会報告

毎年5月に開催をしておりました理事会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議を取り止め説明書・資料を郵送し、審議・書面表決により取り行いました。すべての議案について、満場一致にて承認されました。

▶2019年度事業・決算報告/2020年度事業計画・予算

2019年度後援会事業報告

1. 後援会関係会議	□理事会5月28日(火) □役員会5月10日(金)・9月30日(月) □監査4月26日(金)
2. 教育懇談会 10/26(土)10:30~15:00 <small>就職・教育懇談会出席者数:57名(家庭数46)</small>	【学園祭同時開催】□花園大学 就職講演会 □就職相談 □クラス担任個別相談 □成績・単位取得状況相談 □学生生活相談 □ご休憩コーナー □「京花祭チケット」配布
3. 課外活動への支援	□活動援助6団体:右京区選挙サポーター、サッカーサークルFC Freiheiter's、弓道部、居合道部、邦楽部、新体操部 □卒業生特別表彰者に記念品(17名):表彰を受けた卒業生に後援会記念品(QUOカード)
4. 在学生対象イベント・支援活動	□学生食堂支援「後援会温玉ごはん」□「学長ハーフスイーツ」 □学園祭協賛・協賛広告(学園祭パンフレット) □後援会支援傘
5. 機関紙の発行・発送	□後援会通信ひしよの発行・発送:57号(8月発行)、58号(3月発行)

2020年度後援会事業計画

1. 後援会関係会議	□理事会5月28日(木) □役員会5月15日(金)・9~10月予定 □監査4月23日(木) <small>※開催中止により書面表決にて決議 ※開催中止により書面にて審議 ※開催中止により書類郵送にて監査</small>
2. 教育懇談会 日程未定	【学園祭同時開催予定】□就職・教育懇談会(クラス担任相談・成績・単位取得状況相談・学生生活相談・休憩コーナー・学園祭模擬店チケット(100円5枚綴り)配布)
3. 課外活動への支援	□団体・個人の課外活動援助 □卒業生特別表彰記念品
4. 在学生対象イベント・支援活動	□学生食堂支援:「後援会温玉ごはん」150円の内50円を補助、「学長ハーフスイーツ」開講期間中の毎月第1・第3水曜日クロモジチーズケーキ100円の内50円を補助・クロモジプリン150円の内50円を補助、「0円朝食(温玉付き)+100円チケット」開講期間中の月曜日8:30~8:50の間朝食100円+100円チケット200円負担 □学園祭協賛:協賛広告(学園祭パンフレット)12,000円 □後援会支援傘@450×400本
5. 機関紙の発行・発送	□後援会通信ひしよの発行・発送:後援会通信ひしよ59号(7月発行タブロイド版8頁) 後援会通信ひしよ60号(3月発行タブロイド版8頁) <small>※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、予定変更・中止する場合があります。</small>

2019年度決算(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

収入の部 (単位 円)					
項	科目	本年度予算額	本年度決算額	差異	付記
1	会費収入	35,420,000	33,752,000	1,668,000	
	入会金	2,100,000	2,072,000	28,000	4,000円×518名
	年会費	33,320,000	31,680,000	1,640,000	20,000円×1584名
2	雑収入	101,000	59,501	41,499	
	受取利息	100,000	59,501	40,499	普通預金利息
	その他	1,000	0	1,000	
3	前年度繰越支払資金	12,645,710	12,645,710	0	
	収入の部合計	48,166,710	46,457,211	1,709,499	

支出の部					
項	科目	本年度予算額	本年度決算額	差異	付記
1	学生助成費	35,540,204	29,338,102	6,202,102	
	教育・研究助成費	26,700,000	24,485,426	2,214,574	大学へ寄付
	施設・設備助成費	0	0	0	
	就職支援費	3,100,000	1,920,600	1,179,400	大学へ寄付
	課外活動特別援助費	3,000,000	345,950	2,654,050	
	学生手帳費	1,000,000	845,922	154,078	大学へ寄付
	防災対策備品整備費	1,740,204	1,740,204	0	大学へ寄付
2	後援会員交流事業費	7,900,000	3,967,888	3,932,112	
	教育懇談会費	1,000,000	426,897	573,103	会場設営費・学園祭模擬店チケット・飲み物費用
	講師謝礼費	100,000	0	100,000	
	印刷費	100,000	0	100,000	
	後援会通信印刷	2,000,000	1,874,800	125,200	後援会通信ひしよ(タブロイド版2回発行)
	通信費	500,000	379,141	120,859	後援会通信ひしよ2回発送費
	学生生活援助費	4,000,000	1,287,050	2,712,950	置き傘・学食補助(後援会ごはん・学長スイーツ朝食・100円チケット)
	雑費	200,000	0	200,000	
3	後援会運営費	3,700,000	851,285	2,848,715	
	理事会費	1,000,000	300,820	699,180	理事会(1回)理事旅費交通費
	役員会費	1,000,000	185,669	814,331	役員会(2回)役員旅費交通費
	監査会費	200,000	90,870	109,130	
	旅費交通費	100,000	57,620	42,380	入学式・創立記念式典来賓出席交通費
	通信費	100,000	7,334	92,666	レターパック・切手代
	事務費	100,000	28,972	71,028	振込手数料・学園祭広告他
	慶弔費	1,000,000	180,000	820,000	学生1名、学生ご父母3名、教職員ご父母1名
	雑費	200,000	0	200,000	
4	積立	0	0	0	
5	予備費	1,026,506		1,026,506	
	小計	48,166,710	34,157,275	14,009,435	
6	次年度繰越支払資金	0	12,299,936	▲12,299,936	
	支出の部合計	48,166,710	46,457,211	1,709,499	

(注) 予備費使用額 防災対策備品整備費 40,204円

2020年度予算(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

収入の部 (単位 円)					
項	科目	本年度予算額	前年度予算額	差異	付記
1	会費収入	37,028,000	35,420,000	1,608,000	
	入会金	1,868,000	2,100,000	▲232,000	4,000円×467名
	年会費	35,160,000	33,320,000	1,840,000	20,000円×1758名
2	雑収入	20,061,000	101,000	19,960,000	
	受取利息	60,000	100,000	▲40,000	定期預金利息+普通預金利息
	積立繰入金/その他	20,001,000	1,000	20,000,000	積立金(固定資産)から20,000,000円繰入、その他収入
3	前年度繰越支払資金	12,299,936	12,645,710	▲345,774	
	収入の部合計	69,388,936	48,166,710	21,222,226	

支出の部					
項	科目	本年度予算額	前年度予算額	差異	付記
1	学生助成費	34,500,000	35,500,000	▲1,000,000	基本的に全学生を対象とする事業
	教育・研究助成費	26,800,000	26,700,000	100,000	大学へ寄付
	施設・設備助成費	0	0	0	
	就職支援費	2,100,000	3,100,000	▲1,000,000	大学へ寄付
	課外活動特別援助費	3,000,000	3,000,000	0	※後援会直接支払分
	学生手帳費	1,000,000	1,000,000	0	大学へ寄付
	防災対策備品整備費	1,600,000	1,700,000	▲100,000	大学へ寄付
2	後援会員交流事業費	28,400,000	7,900,000	20,500,000	
	教育懇談会費	1,000,000	1,000,000	0	会場設営費・学園祭模擬店チケット・飲み物費用
	講師謝礼費	100,000	100,000	0	
	印刷費	600,000	100,000	500,000	各種資料、緊急学生支援チケット印刷費
	後援会通信印刷	2,000,000	2,000,000	0	通信印刷費(タブロイド版 年2回発行)×各8頁
	通信費	500,000	500,000	0	会報発送等
	学生生活援助費	24,000,000	4,000,000	20,000,000	置き傘・学食補助、新型コロナ緊急学生支援チケット※
	雑費	200,000	200,000	0	
3	後援会運営費	3,700,000	3,700,000	0	
	理事会費	1,000,000	1,000,000	0	理事会理事旅費交通費
	役員会費	1,000,000	1,000,000	0	役員会役員旅費交通費
	監査会費	200,000	200,000	0	
	旅費交通費	100,000	100,000	0	行事出席交通費及び宿泊費
	通信費	100,000	100,000	0	レターパック・切手代
	事務費	100,000	100,000	0	振込手数料・京花祭広告他
	慶弔費	1,000,000	1,000,000	0	
	雑費	200,000	200,000	0	
4	積立	0	0	0	
5	予備費	2,788,936	1,066,710	1,722,226	
	小計	69,388,936	48,166,710	21,222,226	
6	次年度繰越支払資金	0	0	0	
	支出の部合計	69,388,936	48,166,710	21,222,226	

※新型コロナウイルス感染症にかかる緊急学生支援(案)については別紙参照

2019年度学生助成費詳細

計画	執行額	付記
● 教育・研究助成費充当計画	24,485,426	
健康診断	4,169,880	2019/4~6 計1,404(新入生510 在学生894)
学生教育研究災害傷害保険	2,320,510	学生教育研究災害傷害保険(付帯賠償責任保険)
学園祭補助金	3,945,250	2019/10/26~27
キャリア・デザイン	6,144,800	1回生後期・2回生前期後期キャリア科目必修授業
新入生オリエンテーション	4,401,594	各学科ごとに教員が引率しオリエンテーションを開催
PROGテスト	2,227,392	1回生491名、3回生258名受検 汎用的な能力・態度・志向を測定するアセスメント
卒業アルバム	1,276,000	卒業生全員に配布 DVD
● 就職支援費充当計画	1,920,600	
教育懇談会・保護者向け就職活動セミナー	0	公的機関の講師につき無償
就職活動支援ツール印刷費	408,600	就職活動支援ブック・履歴書及び封筒印刷
求人検索システム	756,000	就活必須システム「求人NAVI」
キャリア支援システム	756,000	就活必須システム「花☆キャリアシステム」
● 課外活動特別援助費	345,950	
課外活動特別援助費(6団体)	311,950	右京区選挙サポーター・FC Freiheiter's・弓道部・居合道部・邦楽部・新体操部
特別表彰記念品	34,000	QUOカード2,000円 卒業生特別表彰17名
● 学生手帳費	845,922	
学生手帳/学生生活ガイド	845,922	学生生活ガイド手帳(2,100冊)
● 防災対策備品整備費	1,740,204	
防災対策備品整備費	1,740,204	4年計画のうち4年目
合計	29,338,102	

2020年度学生助成費充当計画表

計画	予算額	付記
● 教育・研究助成費充当計画	26,800,000	
健康診断	5,000,000	2020/4~6受診
学生教育研究災害傷害保険	2,200,000	学生教育研究災害傷害保険(付帯賠償責任保険)
学園祭補助金	5,000,000	2020/10/24~25予定
キャリア・デザイン	6,300,000	1回生後期・2回生前期後期キャリア科目必修授業
新入生オリエンテーション	4,200,000	各学科ごとに教員が引率しオリエンテーションを開催
PROGテスト	2,800,000	1回生、3回生が受検 汎用的な能力・態度・志向を測定するアセスメント
卒業アルバム	1,300,000	卒業生の記念品として配布 DVD
● 就職支援費充当計画	2,100,000	
就職活動支援ツール印刷費	500,000	就職活動支援ブック・履歴書及び封筒印刷
求人検索システム	800,000	就活必須システム「求人NAVI」
キャリア支援システム	800,000	就活必須システム「花☆キャリアシステム」
● 課外活動特別援助費	3,000,000	
課外活動特別援助費	3,000,000	団体・個人への活動援助金/特別表彰
● 学生手帳費	1,000,000	
学生手帳/学生生活ガイド	1,000,000	学生生活ガイド手帳
● 防災対策備品整備費	1,600,000	
防災対策備品整備	1,600,000	4年計画2期目のうち1年目
合計	34,500,000	

2019年度学位記授与式・2020年度入学式について



新型コロナウイルス感染症の対応に大きく動き出した3月、本学の学位記授与式は当時考えられるすべての対応を駆使し、卒業生と教職員のみの出席・時間短縮という規模を縮小した形で、予定通り3月17日に実施しました。このような形での式でしたが、出席した卒業生からは、「こんな状況の中、私たちのために開催してもらえてうれしかった」という感謝の言葉もありました。

入学式もこの形で実施できればと準備していた矢先の29日、京都市内の大学生の集団感染が確認されたため、翌30日朝、本学では危機管理委員緊急会議を招集し、入学式



大学の取り組み

「花園大学緊急 修学支援奨学金」を支給しました。

新型コロナウイルスの感染症拡大防止に向けて全国的に緊急事態宣言が出され、花園大学でも感染防止のためにキャンパスへの入構禁止措置をとり、基本的にオンラインによる授業を継続することになりました。こうした状況の中、学生の皆さんが安心して学修を継続していただくため、オンライン授業に対応できる学習環境の整備を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大によるアルバイト収入減少など社会活動の停滞による経済的影響を考慮した緊急の奨学金として、学部および大学院生全員（休学を除く）に一律5万円を支給しました。

学務課

新型コロナウイルス感染症が急速に拡大していくなか、新年度を迎えることとなりました。新入生の皆さまには入学式が中止となるだけではなく、新入生オリエンテーションをはじめ、様々な学内行事を中止せざるを得ない状況となり、人生の新しいスタートを心待ちにしておられたことを考えますと、非常に残念でな



▲ソーシャルディスタンスを保つ受付

りませんでした。

授業についても早々に対面授業の開始の延期を決定いたしました。4月7日に大阪を含む全国7区域に緊急事態宣言が発出され、その後、全都道府県に拡大していくことになり、対面授業の再開についてもその都度さらに延期をせざるを得ませんでした。こうした状況が続き、前期の授業については全面的な対面授業実施は困難であると判断し、今年度前期はオンライン授業を基本とすることいたしました。在学生の皆さんには、多くの制約の中で学修することをお願いし、相当なご負担やご苦労をおかけしていることと思えます。特に新入生の皆さまには、初めて触れる大学のシステム「ポータルサイト」や「Clearing」を利用して、様々な授業の課題を確認し提出するなど、今までに経験されたことのないことに即座に対応して

頂きました。今後の状況にも不安を持たれていただくとも思いません。ただ、今回の措置につきましては、在学生の皆さまの生命と健康を守りながらも学修機会を確保するための対応であることをご理解いただきたいと思います。今後も、教職員一同、万全の体制でサポートしていく所存です。

現在は、一部対面による授業を行い、課外活動についても徐々に制限を緩和しているところでもあります。まだまだ通常とは言えない状況ですが、学内にも少しずつではありますが活気が戻ってきたように感じようになってきました。

就職課

2021年卒業予定学生を対象とした学内就職説明会「花園博覧会」は、新型コロナウイルスのまん延とそれに伴う自粛要請の少し前の時期であったことも幸いし、十分に感染防止対策を講じたうえで、2月19日(水)から3日間、一般企業・福祉事業所・公務員など約90団体にお越しただき、無事に実施することができました。特に就職課として大切にしている個別面談は、電話・メール・webなど新たな体制を構築して対応しています。これまでのやり方にとらわれず、オンラインアプリや動画配信等、様々なチ



▲花園博覧会の様子

ヤナルを効果的に活用し、学生サービスとして途切れさせることがないように、対応を続けたいと思います。

図書館

図書館は2020年3月30日〜5月31日は臨時休館しましたが、臨時休館中も大学図書館として学修支援の機能を果たすため、本学学生・教職員を対象に、感染防止対策を講じつつ、メール申請のうえ日時を限定して図書の出貸、代行複写を実施しました。希望者には郵送にも対応しました。また電子書籍を新規購入し、学生ポータルで閲覧できるようにしたり、学外から利用できるデータベースを案内したりするなどのサービスを実施しました。非常事態宣言解除後は、感染症対策を最大限講じた上で事前予約制をとって開館しています。

入試課

入試課では、新型コロナウイルス感染症拡大による国の緊急事態宣言を受け、入試説明会やオープンキャンパスが中止となったこの状況で高校生の皆さんに花園大学の魅力をお伝えするかを考えた結果、5月下旬から「おうちdeガイダンス」としてオンラインでの入試相談会をスタートさせました。当初の想定を上回る相談予約と、わかりやすかったとのコメントもあり、手応えを感じています。また、



▲「おうちdeガイダンス」オンライン風景

急ぎよ「webオープンキャンパス」企画をホームページ上に展開しました。普段見ることのできない学長室から学長メッセージ動画、各学科・課程の紹介、模擬授業なども配信しました。7月からは、十分な対策を講じたうえで、小規模ながらオープンキャンパスを再開させています。花園大学を紹介するマンガ

を制作し、ツイッターやホームページに掲載していますので一度ご覧ください。入試課では、今後もWithコロナ時代に受け入れられるコンテンツを考え、それを通して花園大学の魅力を伝えていきます。皆様様の周りに少しでも花園大学に興味のある方がいらっしゃいましたらぜひ花園大学ホームページへのアクセスをお勧めください。

情報システムセンター

情報システムセンターでは、オンライン授業の実施により、自宅(下宿先)にPC等の利用環境が整備されていない場合に限り、「オンライン授業視聴」「レポート作成」を目的とした情報教室(無聖館404教室)のPC利用を認めています。感染防止対策として、座席数を減らし、窓を開放し換気し、使用したキーボード等は随時消毒を行うなど徹底した対応策を講じています。



▲情報教室

オンライン授業について



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、前期の講義は基本的にオンラインで授業をすることになり、急ぎ、先生方もその授業内容に合わせて取り組みを始めました。TeamsやZoomなどのオンラインツールを活用したオンライン授業や、メールなどで課題を出したり、電話で連絡を取ったり、様々なスタイルでスタートさせました。

横田南嶺総長も、円覚寺にて動画を撮影され「禅とこころ」の講義をされました。90分すべて講義されるのではなく、円覚寺の中を自身でガイドし、バーチャルな円覚寺見学も体感できるような工夫をされました。先生方もいろいろなワークや手法を取り入れ授業を展開させています。オンライン授業を実施されている先生方からは、通常

授業に比べて画面で常にみられているという緊張感もあるが、リモートなのに意外と学生との距離が近く感じたという意見も聞かれました。学生からも、動画視聴による講義は、わからないところをリピートできたり、質問がしやすいとしたり、逆に学びが深くなったという意見もあるとのこと。その一方で、連絡が取れない学生、学生のネット環境の差が出たり、モチベーションの維持ができなかったり、実習やグループワークをともなう授業に対応できないなど様々な問題点があり、内容に応じて個別に対応を進めているようです。

オンライン授業風景



横田南嶺総長
「禅とこころ」円覚寺から動画撮影による講義
総長の講義は大学HPから視聴いただけます。



学長/
社会福祉学部臨床心理学科 丹治光浩教授
「臨床心理学」学長室にて



文学部仏教学科 佐々木閑教授
「禅とこころ」動画の撮影風景



社会福祉学部臨床心理学科 小海宏之教授
「臨床心理学演習A」研究室にて



教養教職課程 師茂樹教授
「課題解決プログラム」研究室にて

授業の工夫

私が行ったいくつかの授業では、講義内容をまず文章で書いて、それを自分で読み上げて録音し、文章と録音データを学生にインターネット上で読んだり聴いたりしてもらいました。

学生の中には、インターネット環境に限られていて、映像の視聴やビデオ

通話が難しいという方もいます。こちらとしても、教科書を参照しながら授業を受けてほしいだったので、教科書に目を向けながら受講できる方法ということで音声のみとしました。そして、話す内容を文章化しておいた方が伝わりやすいと思い、先に文章を書いてい

文学部日本文学科 秦美香子教授

たので、せつくなので文章も公開していました。

文章を読むか音声を聴くか、どちらか一方を選ぶだろうと思っていたのですが、意外と「まず音声を聴いてから、文章をもう一度読んでいます」という学生もいて、熱心に受講してくれて

いるようでした。

「途中でじっくり考えることもできるし、何度も復習できるので良い」という意見には、教室で普段行っている授業のペース配分を考える良いヒントをいただいたと思っています。

★ サークル紹介 ★ ～学生たちの工夫～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月当初に予定していた新入生オリエンテーションは中止になりましたが、7月の土日祝日を利用し、各学科のオリエンテーションの機会が設けられました。来校した新入生同士で連絡先を交換する姿も見られたほか、新入生を勧誘する機会がなかった学生たちのサークル紹介の場にもなりました。

新入生と直接会うことができない学生たちは、InstagramやTwitterを活用し、様々な工夫をして、新入生と繋がろうとしています。



オリエンテーション～サークル紹介掲示～



Instagram



Instagram



Instagram



Instagram



Twitter



Instagram



Instagram



Twitter



Twitter